

⑫ 公開実用新案公報 (U) 昭62-18572

⑬ Int.Cl.⁴
F 28 D 7/10識別記号 庁内整理番号
7710-3L

⑭ 公開 昭和62年(1987)2月4日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 二重管式熱交換器

⑯ 実願 昭60-106504
⑰ 出願 昭60(1985)7月12日⑱ 考案者 大嶋 正和 川崎市川崎区田辺新田1番1号 富士電機株式会社内
⑲ 出願人 富士電機株式会社 川崎市川崎区田辺新田1番1号
⑳ 代理人 弁理士 山口 崑

㉑ 実用新案登録請求の範囲

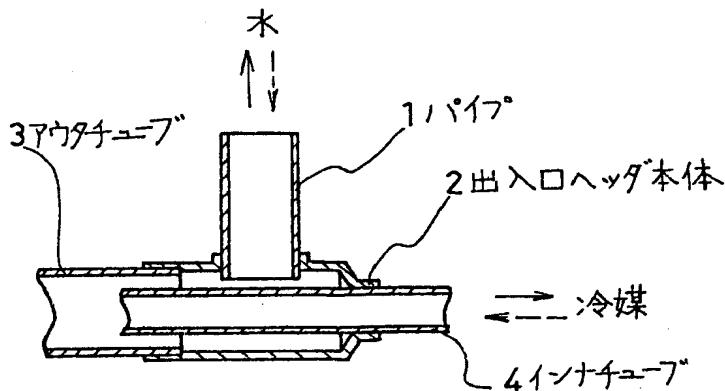
両端を揃えて平行に配列したヘアピン状のパイプの隣合う相互間をUベンドパイプを介して蛇行状に直列接続してなる銅製のインナチューブと、該インナチューブに沿つてその直線部分の外周に嵌装された両端開放の直線状の銅製のアウタチューブと、相対向する内側の胴壁面に隣合う前記アウタチューブの貫通孔が設けられ該アウタチューブを中心にはんで前記胴壁面の外側に該アウタチューブ内から延出する前記インナチューブの両端部を貫通して突出させてなる該アウタチューブを直列に連結する銅製のヘッダとをシール接合して一体化した二重管式熱交換器において、アウタチューブの出・入口部を形成するヘッダを、一端側にアウタチューブを嵌合し他端側をインナチューブが貫通接合可能に絞り胴壁に出・入口パイプの貫通孔を設けた銅パイプ製のヘッダ本体と該貫通孔に装着接合する銅製の出・入口パイプとで構成したことを特徴とする二重管式熱交換器。

図面の簡単な説明

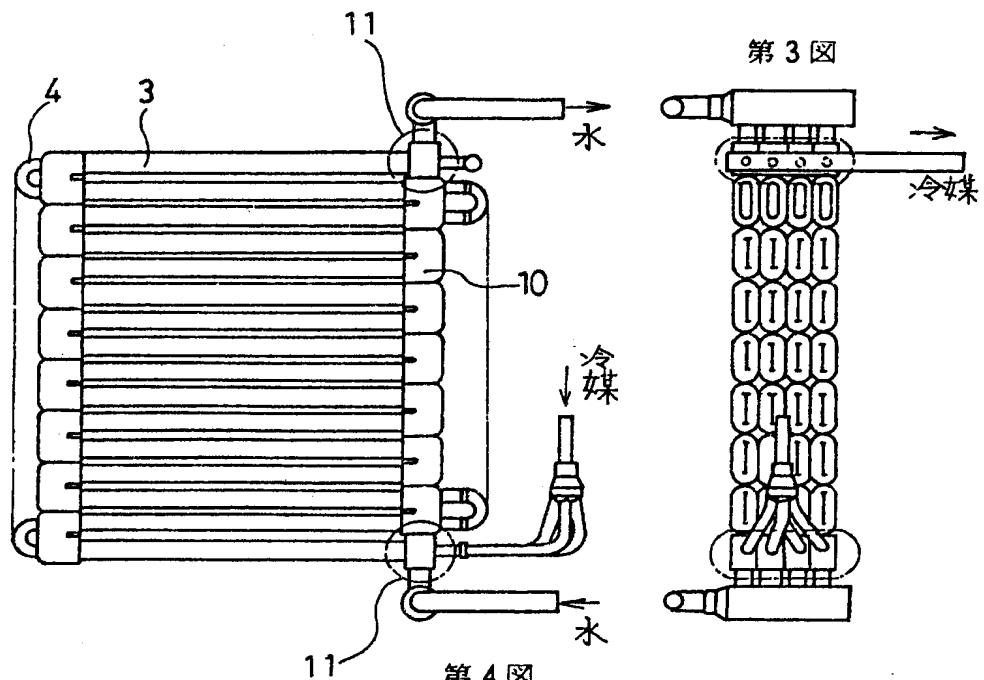
第1図はこの考案の要部である出・入口ヘッダ断面図、第2図ないし第4図は従来例の二重管式熱交換器を示すもので第2図はその正面図、第3図はその側面図、第4図はその第1図に対応する要部断面図である。

1 ……出・入口パイプ、2 ……出・入口ヘッダ本体、3 ……アウタチューブ、4 ……インナチューブ、10 ……ヘッダ、11 ……出・入口ヘッダ。

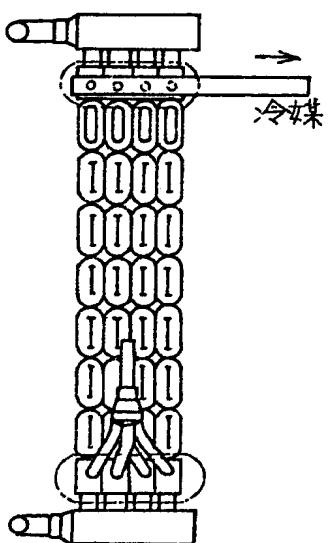
第1図



第2図



第3図



第4図

